



進化する体育大会と生徒の想い

体育大会実行委員長(体育科教諭) 盛田 大吾朗

今年度、本校では体育大会の在り方を見直しました。

学習指導要領の体育的行事のねらいの中には、「生涯にわたって、心身ともに健康で安全な生活を実践しようとする態度を養う。また、運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度を養う。」という文章があります。

この観点から従来 of 体育大会を見たときに、「体育大会を通じて逆に運動を嫌いになってしまう生徒がいることはよくないのではないか」という意見が挙がり、職員一同、何度も話し合いを重ね、様々な意見を出し合いました。そして、「全種目に全員が出場する形ではなく、種目によっては“応援する”という参加の仕方を選べる形をとろう」と決めました。

スポーツには「する」「見る」「支える」「知る」などの様々な関わり方があります。オリンピック・パラリンピックをはじめとして、競技者も、サポーターも、裏方も様々な人が様々な形で親しめるのがスポーツの良いところです。私自身も、実行委員長として様々な想いや葛藤がありました。最終的には「運動をするのが好きな人も、嫌いな人も、様々な形でスポーツに親しんでほしい!」こんな想いから新しい形の体育大会にチャレンジしてみようと決断しました。

また、今回の新たな形の体育大会の開催にあたり、嬉しい出来事がありました。種目の変更等を伝えた時、3年生の生徒達が「自分たちは最後の体育大会にこんな想いで臨みたい」と意見してくれたことです。六中をリードしていく3年生から行事に向けた熱い気持ちを感じることができたこと、勝ち負けよりも仲間と一緒に頑張りたいという気持ちをもっていることが本当に嬉しかったです。

私の中で実行委員の生徒達と教員たちで想いを語り合った第1回体育大会実行委員会は、忘れることのできない貴重な時間です。

そして何より今、先生達や、運動が苦手な生徒の想いも理解し受け止め、3年生を中心として一生懸命体育大会の練習に取り組んでくれている生徒達の姿を心から誇りに思います。



今年度の体育大会は、これまでの六中の良さを守りながら、さらに進化したものになりました。

基本となったのは「スポーツの楽しさを、誰もが感じることでできる体育大会」です。そのためには、「全員で同じことを」から脱却することが必要でした。

六中では、性別や体格、運動の得意不得意など様々な個性をもった全ての生徒が、誰一人恥をかいったり晒されたりすることなく、みんなで一つのを創り上げる喜びを感じられる仕組みを、生徒と教師が一緒になって考え、進めてきました。各種目への参加の形はそれぞれでも、きっと生徒たちはどの瞬間も、精一杯自分の力を発揮し、かいっぱい仲間を応援し、素晴らしいプレーを称え合うことと思います。

そしてこれは、ゴールではありません。今回の体育大会を通してみんなで学んだことを大切に、これからも多様な仲間が共に幸せに生きる社会を目指して、様々な角度から物事を捉え、自分の頭で考えて、勇気をもって新しい一歩を踏み出せる人になってください。

みなさんの心に残る、素晴らしい体育大会になるよう祈っています。(体育大会プログラム 校長挨拶より)

学校公開・引き取り訓練へのご参加ありがとうございました

★保護者アンケートより★



- ・先生と生徒の距離感が近く、とても親しみやすい環境で良いなと感じました。
- ・みんな和気あいあいと授業に取り組んでいて微笑ましかったです。先生たちがあれこれ言うのではなく、生徒の自主性を重んじて(道徳授業を)終えたのが印象的でした。
- ・先生が「～すべき」という指導ではなく、一人一人の考えや思いを大切にしていることが伝わってきました。
- ・避難の説明がわかりやすかったです。子供たちのためにいろいろと考えていただいていたことがありがたいです。
- ・一番後ろの子がプリント回収時にまだ書けていない子を待っていてくれて、クラスの雰囲気が良く、優しさを感じました。
- ・運動会のシステムや制服など、どんどん新しいことを取り入れてくださって、ありがとうございます!
- ・落ち着いて和やかな雰囲気でした。みんな落ち着いて話を聞いて授業に参加していて安心しました。
- ・被災者の方の体験から、命の大切さについて学ぶ貴重な時間になったと思います。
- ・机の脚がガタガタしてる人が気になりました。脚につけるフェルト等を自宅で準備したいと思います。
→ご配慮ありがとうございます。床はどうしても凹凸がある場所があり、机がガタガタする所があります。学年ごとに脚につけるコルクの小さい板を用意し、必要な場合は誰でも使えるようにしました。
- ・様子を見ることで子どもと話すときにイメージがわきやすくて良いです。今後も学校公開に来たいです。
→年間行事予定表に公開日を記載していますが、六中は定期考査以外、いつでも参観可能です。来校時に副校長にお声がけください。その際は、不審者対策のため名札の着用をお願いします。

「ちょうふの風」嶋田さんの講話

『障害のある人の災害時の避難』



調布市防災の日は、六中校区にある放課後デイサービス「ちょうふの風」代表の嶋田浩一さんの講話をオンラインで聞きました。わかりやすいお話で、講話後に自然に生徒から拍手が起きていました。保護者アンケートでも「地域の方から現場の声を直接聞くことができ意義深いと思いました」「嶋田さんのお話がとても参考になりました」という声を寄せていただきました。

六中哲学対話



本校では昨年度より、六中タイムを使って月に一度「哲学対話」に取り組んでいます。「批判的思考」「創造的思考」「ケア的思考」を育成することを目的として、生徒から募集したテーマで対話します。クラス(班)によっては上手に対話できないこともあります。自分の頭で考え、対話することが少しずつでもできるように、諦めずに取り組んでいきます。詳しくは各学年だよりで紹介していますのでご覧ください。

令和7年度ジュニア研修部 活動開始!

昨年度に引き続き、全校生徒の希望者による「ジュニア研修部」が発足しました。今後は先生たちの研修会などに参加して意見を表明したり、先生たちと対話したりして、一緒に授業改善をしていきます。



生徒の活躍の様子

調布市喫煙マナー・都市美化&地球温暖化防止啓発ポスター 地球温暖化防止啓発部門

優秀作品 □□ □□

※ここでは校内の活動を紹介しますが、申し出があれば校外での活動についても、予選等のある都大会入賞以上のものを目安に紹介します。

5月の予定

- 1日(木) 生徒会朝礼 教育実習(始) 音楽療法体験(2年)小中連携の日
- 9日(金) 生徒総会
- 14日(水) 体育大会予行
- 17日(土) 第51回体育大会 ※予備日 20.21日
- 19日(月) 振替休業日
- 20日(火) 全校朝礼
- 22日(木) 避難訓練 音楽療法体験(3年)
- 23日(金) 教育実習(終) 全校朝礼
- 26日(月) 給食なし(弁当持参)
- 29日(木) グリーンハロープロジェクト 音楽療法体験(1年)
- 31日(土) 第1回英語検定



音楽療法士南美帆先生と♪